



茅野市・総社市 議員研修会での「雪舟くん」についての説明

姉妹都市との絆深まる

茅野市と総社市が交流

7月6日、昭和59年から総社市と姉妹都市縁組を締結している長野県茅野市から市長と市議会議員らが来総し、両市の交流を深めました。

議員研修会では交通政策課の職員が「雪舟くん」の取り組みについて紹介。総社市議会議員からは導入までの議会活動や経緯について説明がありました。そのほか、長良地内の企業誘致現場や、市の観光名所である備中国分寺、井山宝福寺を見学し、施策と観光の両面から総社市への理解を深めていました。

交流のなかで、茅野市の柳平市長は「よきパートナーとしてこの関係を大切にしたい」と姉妹都市友好への思いを語りました。

ミニフォト

相手を思いやる気持ちを育む



家庭科で裁縫の補助をする生徒

6月24日、総社東中学校3年生によるピア・サポート活動が市内5つの小学校で行われました。この活動は子ども同士が仲間を思いやり、相互に支えあうもので、学校園を越えた学習の場を設定し、交流が行われています。

明るい社会へ向け誓い新たに



優秀標語の受賞者

“社会を明るくする運動”総社市推進大会を7月5日、山手公民館で開催。優秀標語の表彰のほか、南野育成園の叶原士筆さんが講演し、参加者は犯罪や非行のない明るい社会を築くため力を合わせていくことを再確認していました。

楽しくおはなしに親しむ



エプロンシアターに見入る参加者

子どもが本に親しむ納涼まつりが7月2日、市図書館で開催されました。まつりには子どもとその保護者ら55人が参加。エプロンシアターやストーリーテリングなどで話の世界に触れたほか、折り紙なども楽しみました。

吹奏楽の力で元気を届ける



出演校の3年生によるフィナーレ

7月9日、市民会館で山陽道・ぶら〜っとジョイントコンサート2016が開催されました。総社東中学校のほか中国地方各地から6中学校が参加し、約700人が来場。吹奏楽の迫力ある演奏に、観客は大きな拍手を送っていました。

七夕の風習を体験



お盆に供える精霊馬作りを体験

7月7日、山手幼稚園で園児と老人クラブ山手支部の交流が行われました。園児は七夕飾りやキューリとナスの精霊馬を参加者といっしょに作り、七夕の由来や風習について、楽しく触れ合いながら教わっていました。

地域で日本語を学ぶ



日本語での自己紹介を練習

総社市で暮らす外国人のための「地域でつながる日本語教室」が6月19日、市保健センターで始まりました。初回は8か国の31人が参加。全30回の教室で、地域住民と交流しながら日常生活で使う日本語やルールを学びます。

世界第2位に輝く

FIG 世界年齢別選手権

エアロビックスのFIG世界年齢別選手権に出場した山元里桜さん（総社西中1年・宍粟）が、グループとトリオの2部門で世界第2位に輝きました。

同選手権は6月13日から15日までの3日間、韓国仁川市で開催。山元さんは、緊張のなかでも、楽しむことができた大会を振り返り、「全力は出し切ったが、トリオ部門では予選を1位で通過していたので悔しい。来年4月に開催されるワールドカップを目標にがんばります」とさらなるステップアップを誓っていました。



世界を舞台に活躍する山元さん。賞状とメダルを手に笑顔を見せる



市消防庁舎で行われた立谷相馬市長による講演（写真上）。南海トラフ災害対応プラットフォームの進捗状況を報告するAMDАの菅波代表（写真左）

カメラ フォトニュース まちの話題

災害への備えを考える

相馬市長講演会・南海トラフ災害対応調整会議

福島県相馬市の立谷秀清市長が7月9日に来総し、「大規模災害時の被災者マネジメント」と題して防災講演会を行いました。会場となった市消防庁舎には市民ら約180人が集い、震災発生後の対応状況や必要とされる支援についての説明を傾聴し、情報共有のあり方や避難所の運営などを学びました。同日、災害に備えて自治体と協力団体で組織する、AMDА南海トラフ災害対応プラットフォーム調整会議が岡山市で開催。熊本地震支援の活動報告や、大規模災害時に迅速で確実な支援を行うための連携を確認していました。

スポーツで地域を元気に



レクリエーションを楽しむ

昭和地区ふれあいスポーツ祭りが6月26日、昭和小学校と昭和幼稚園で開かれました。集った約300人の住民は、レクリエーションやソフトバレーボール、グラウンドゴルフなどで心地よい汗を流し、親睦を深めていました。

五つ星のつながり深まる



維新幼稚園児による踊りの発表

五つ星学園こどもまつりが7月10日、昭和中学校を会場に開催。昭和中学校区の5校園の子どもが一堂に会して、歌やダンス、吹奏楽のステージ発表やワークショップなどを行い、会場には明るい笑顔が広がっていました。

より迅速な支援のために



ヘリコプターに乗りこむ医療チーム

7月6日、陸上自衛隊が南海トラフ地震を想定し、大規模な演習を実施。市アクアセンターが中継拠点となりました。訓練では、総社市に集結したAMDАの医療チームを徳島県へ輸送。災害時の自治体を越えた連携を確認していました。